

彦根景観フォーラム 編

「彦根歴史散歩 過去から未来

をつむぐ」書店で好評発売中

定価 1,890円(本体1800円) A5判 128ページ

近江旅の本シリーズ5 平成18年12月25日発売



私たちは城下町彦根の価値を正當に評価するために、世界遺産登録を視野に置いた活動を展開してきましたが、これまで彦根のまち全体にスポットを当てた本がほとんどなく、新しいまちづくりのきっかけとなるような

本を作ろうと考えてきました。

そして、滋賀大学や滋賀県立大学の関係者を中心に有志を募って執筆し、市内のサンライズ出版のご協力を得て、同社の「近江旅の本」シリーズの5冊目として、このたび発行いたしました。

歴史と関連するスポットを紹介する形で、古代から中世の彦根や、彦根城築城、維新後の城下町などを写真約300枚を交えて解説。彦根山観音巡礼や朝鮮通信使の様子の絵など3枚も掲載しています。

また、彦根景観フォーラムが目指している「まちづくり」についても詳述しました。地図もふんだんに挿入した親しみやすい内容で、このガイドブックを手に、彦根を歩けば、その魅力を必ず実感していただける「自信作」です。

私の好きな
まちなかスポット

東新町・水流れ町と彦根城

私は、彦根駅前旭町で

生まれ育ち、城を真正面に見てまいりました。その10年後、駅前の区画整理事業により、東新町（現在

の京町3丁目)から学校そして職場に通い、水流れ町方面に見えたのは、やっぱり「お城」です。

今は、鳥居本に住んでいますが、



佐和山のトンネルを越えて右手に見えるのは、「彦根城」。いつも自分の位置を確認するときのランドマークが城であることが自然であり、戦乱の産物でありませんが、平和や安堵感を感じています。まちなかでは、道路整備や生活環境が改善され、すっかり自然を感じる事が少なくなってしまいました。

しかし、このビルの隙間から見える「彦根城」になぜかほっとしています。

(彦根景観フォーラム理事 安達 昇)

使ってみよう まち遊びケータイ

彦根ユビキタス産業協議会では、国土交通省の採択を受け、彦根城や街の駅「カ石」など市内12ヶ所に設置した電波ポスターにおサイフケータイかICタグをかざすと、その地点情報が携帯電話で入手できるシステムを開発しました。



また、彦根景観フォーラムの開拓したまち歩きコースを「ひこね観光ナビ」として、携帯電話の地図上に表示させ、ルートナビゲーションをおこないます。

3月21日から開幕の国宝・彦根城築城400年祭では、多くの観光客にぜひ活用していただきたいものです。

お問い合わせは、彦根商工会議所まで。

詳しくは、<http://ub.shiga-u.jp/>へアクセス。

話し合う夢から始まる・まちづくり NPO・彦根景観フォーラム入会のご案内

教員や学生、建築家、主婦、会社員、市民、商店主、公務員など、いろいろな人と知恵が集まります。

- 定例ワークショップ 毎月第2水曜日午後7時～9時 滋賀大学陵水会館にて 年会費 6,000円
- 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431

ブログ:<http://hikonekeik.exblog.jp> e-mail: hikonekeikan@hotmail.com



きらつと彦根

No. 7

彦根まちづくり情報誌 2007年1月10日 通巻 7号 編集/発行：NPO法人 彦根景観フォーラム

「次のステップへ！」

彦根景観フォーラム 年頭 ごあいさつ

彦根は江戸期城下町の街並みを最もよく残すまちです。また、明治以降の近代化遺産も数多く残されています。これら歴史的遺産が、彦根の素晴らしい景観の基本要素になっています。

しかし、歴史的遺産や自然環境の消滅は著しい上に、その跡地はかつて刻んできた年輪などに無配慮のまままで開発されています。このままでは、混沌の未来が出現し、彦根固有の価値すら損なわれる恐れがあります。

われわれNPOは、美しい自然環境と歴史的遺産を持つ彦根を、年輪を刻んだ共生の未来に繋げたいと考えています。この方向こそが、住みやすく誇りを持つ彦根にすることだと確信するからです。

これまでは、彦根固有の価値を再認識するために、歴史探訪や遺産の故事来歴、人々の暮らしや思いを学び体験する運動を中心に行ってきました。

これからは、年輪を刻んだ共生の彦根づくりに向けた具体的な活動に踏み出す所存です。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 山崎 一眞（滋賀大学教授）

「彦根歴史散歩」発刊記念シンポジウム

過去から未来をつむぐ城下町彦根

平成19年1月21日（日）14時～16時

彦根城博物館講堂

「彦根築城と城下町の形成」／「武家屋敷、町人屋敷、遺構」／「歴史を生かしたまちづくり」

それぞれの彦根物語 1月号

築城400年祭《談話室》へのご招待



「洋画家、父・島戸繁と彦根」を語る島戸 陽さん（12/16）

土曜日の朝 10時半から12時まで、寺子屋力石の談話室で「それぞれの彦根物語」を開いています。一人の「物語」を話の種に、みんなで語り合い、彦根の楽しみごとを共有し、より充実し

た生活につなげようという企画です。どなたでも参加できます。また、どなたでもお話しいただけます。

—1月の語り部 彦根史談会—

【彦根物語 25】平成19年1月13日（土）

「彦根南部の民話」

皆川 重徳（彦根史談会副会長）

【彦根物語 26】平成19年1月20日（土）

「善利組の足軽屋敷」

長谷川 他家夫（彦根史談会副会長）

【彦根物語 27】平成19年1月27日（土）

「彦根史話のいろいろ」

中野 修吾（彦根史談会会長）

【会場】ひこね街の駅 「寺子屋力石」

彦根市河原2丁目3-6 花しょうぶ通り

TEL：0749-27-2810 参加無料。

下記にて、5月から始めました《談話室》「それぞれの彦根物語」のレポートを公開しています。

NPO法人彦根景観フォーラム ブログ

<http://hikonekeik.exblog.jp/>

ぶらつと彦根・まちナビシンポ
彦根をあそぼう

400年祭・プレ「彦根あそび博」

連載 創造的修景を考える（7）
時代（とき）をこえて
—時間に耐えうる修景—
建築家 戸所 岩雄

●彦根景観フォーラム編・著
「彦根歴史散歩」好評発売中
●私の好きなまちかどスポット
東新町・水流れ町と彦根城